

「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業「食の安全」プログラムに係る  
食品安全分析室見学会について

(香川大学アジア人財支援室)

平成 22 年 5 月 18 日（火）に、香川大学農学部において、食品安全分析室見学会が行われました。「アジア人財資金構想」コンソーシアム企業、四国経済産業局、四国生産性本部、「アジア人財資金構想」プロジェクトサポートセンター、本学関係者などから、多数の列席をいただきました。

食品安全・機能解析研究センターは、平成 22 年 4 月 7 日に農学部を設置されました。そのセンターで活用する機器を備えている部屋が食品安全分析室です。現在の社会情勢を背景に、香川大学では、率先して食品にまつわる安全や健康に関わる諸問題に組織的に取り組み、食産業界の発展のみならず、国民の健康増進に寄与することを目的としています。

今回の見学会では香川県産のブロッコリーの残留農薬の抽出、LC/MS/MS や GC/MS を使用し農薬の一斉分析を実際に行いながら設備機器を見ていただきました。このセンターでは、その他、感染性微生物の研究、カビ毒高度検出法の確立、生理機能解析などを研究し、「食品の安全、健康増進の諸問題」を香川県内、海外研究機関等と共同実施します。実施結果は、ホームページによる公開やセミナーなどの開催により社会に還元する予定です。また、学会誌への学術発表なども目録等の形で情報を提供できるようにする予定です。

香川大学の 1 つの特色として農学部の食品科学分野が「食の健康と安全」についての拠点となることを願っています。

